

旭区区政会議における委員からの教育関連意見等

対象回次：令和元年度第2回、令和元年度第3回、令和2年度第1回

※分類 ①平成2年度において対応済みまたは令和2年度中に対応予定 ②令和3年度運営方針に反映または令和3年度中に対応予定
③令和3年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可 ⑤その他

番号	項目	区政会議	ご意見等	対応方針等	分類	担当
1	子育て支援	元年度第2回	子どもに対しての支援やサポートが、すごく考えられていて多いと思うが、子どもを持つ親御さんに対しての、もっと具体的なフォローや教育があってもいいのかなと思う。SNSの使用や虐待の問題があると思うが、親御さんがもう少ししっかりしていたり常識があれば、と思うような事件が多々あると思う。その辺も考えてもいいのかなと思う。	「親御さんがもう少ししっかりしていたり常識があれば」ということですが、「命の大切さ」や「性」についてしっかり学んでおくよう、PTAとも連携して取り組みます。また、少子化や近所付き合いの希薄さなどで、幼いこどもと接した経験がないまま親になることも珍しいことではなく、小学生高学年のころから幼い子どもと触れ合う機会を作る取り組みも検討します。	②	子育て支援
2	学校教育	元年度第2回	教育支援において、よく知育、体育、徳育と言われるが、徳育の視点が見られない。やはり3つ、きちっとしたほうがいいんじゃないかと思う。心をきちっと健全に育てようというような取組を、できれば書いてもらいたい	子どもの健全育成において、道徳は非常に重要であることは委員ご指摘のとおりと考えております。学校教育においては、「特別の教科 道徳」が、小学校では平成30年度から、中学校では令和元年度から始まっております。また、例えば「あいさつ運動」など、さまざまな場面で取組が行われております。区における教育支援においても、例えば課外学習を実施する中で、時間の遵守や学習姿勢等に対する指導等を行っており、今後とも進めてまいります。	①	企画調整
3	課外学習	元年度第2回	今、若者の世界で教育への志を持っている大人がたくさんいる。例えば、日本全国に速読を広めたコンサルタントの方がいるが、企業や一般の人が、その人に教育に関する講演やスキルアップを依頼すると、費用がかかる。でも、小学校、中学校とかには、無償でされている。区も、その方と連携したり、依頼し、小中学生に教育、スキルアップのことをやっていっても面白いかなというのが意見です。	学校教育等に関して区役所が実施する事業につきましては、学校と連携して実施しております。今後の参考とさせていただければと思います。 また、「子ども食堂」や「あさひ学び舎事業」での実施も含めて検討いたします。	②	企画調整／子育て支援／生活支援
4	こども食堂	元年度第2回	こども食堂は、各グループや各個人、家庭の方たちが地域でされています。これを、区で旭食堂みたいなこども食堂をすることで、旭区が老若男女、老人の方と子どもたちや、みんな仲良くつながって、旭区すこいよってなって全国に飛び火して笑顔になって。防災とかも絡めて、防災ってこうやるんだよっていうのも、こども食堂の区がやる、大きい場所のこども食堂の中でやっても、なんか面白いのかなって思う。	旭区には、現在こどもの居場所としてのこども食堂が7か所あり、区役所としてはその自主運営を支援しています。 こども食堂でこどもとお年寄りが一緒に集うことなどは大変意義のあることだと思いますが、現在は1箇所がその形態をとっています。地域での継続的な交流こそ、意義があると思っており、今後ともこども食堂が、それぞれのネットワークで様々な工夫を行い、こどもの大事な居場所となるよう支援していきたいと考えています。	④	子育て支援
5	学校教育	元年度第3回	小学校の授業に英語が導入され、つまづきが出てくるのではないかと思います。しっかりと見て行ってもらいたいです。	来年度に向けて準備をしています。数年前から取り組んでいる学校もあり、各学校で情報共有しています。	①	企画調整
6	学び舎事業	元年度第3回	あさひ学び舎事業で、高等学校での中途退学とあるが、どうしてそこに着眼したのでしょうか。	あさひ学び舎事業は、生活保護世帯や就学援助世帯の子どもを対象に、貧困の連鎖からの脱却を目指し、高校進学・居場所づくりという視点で実施している事業です。事業利用者の高校進学後を調べたところ、中退者が出ていることが判明したため、学び舎事業の卒業生である高校生に対して中退者を出さない施策が必要として、自習室の提供や相談支援を組み込みました。	①	生活支援
7	課外学習	元年度第3回	中学校で教育関係の事業をやってもらってありがたいが、参加者数が地区によってさまざま。広報が足りないのか。子どもが行きたがらないのか。もう少し参加者が増える方策・広報活動が必要であると思います。	中学校での課外学習事業である「旭塾」に関しまして、令和元年度までは学校によって参加人数に大きな違いがありましたが、原因を分析し、令和2年度からは、開催曜日を変更することとしました。引き続き、実施事業者と協力し、広報活動にも取り組んでまいります。	①	企画調整
8	課外学習／進学指導	2年度第1回	新型コロナウイルス感染症の影響により学校が休業となり、授業数が足りないことで子どもたちの学力低下を懸念しています。また、例年実施している旭塾等の学習支援も中々進まない状況で、学力の低下と格差が広がってきているのではないかと感じます。さらに、子どもたちの進学に関しても新型コロナウイルス感染症による影響による懸念があり、どのように対応していけば良いのかお聞きしたい。	旭区では、中学生を対象に基礎学力の定着支援ということで、旭ベーシックサポート事業や旭塾というのを実施しています。また、小学生を対象に、学力アップアシスト事業や児童の学力向上サポート事業を実施しています。 今年度についてもコロナ禍ではありましたが準備を進め、学校の再開と同時にこの取組を始め、順次活用いただいているような状況です。 また、進学等については、教育委員会でいろいろと指導されていると思いますが、連携して進めていきたいと思っています。	①	企画調整
9	防災教育	元年度第3回	防災について、旭東中学校の中学生が主体となって地域の防災訓練をしました。新森小学校と、小学生と連動して実施しました。今後、いつ災害が起こるかわからないので、中学生にも担い手になってもらいたいと思います。教育の観点と結び付けて防災をやっていくのが大切だと思います。継続も大切だと思います。	中学生を防災活動の担い手とする取組については、今年度中に仕組み作りを行うことにしておりまして、令和2年度以降、全中学校において、共通のプログラムによる防災教育を実施し、「防災マスター」の育成に取り組みます。学年ごとのプログラムは大阪市立大学の協力を得て作成中です。保護者の教育も重要であると考えており、PTAとも連携できたらと思っています。	②	防災安全

番号	項目	区政 会議	ご意見等	対応方針等	分類	担当
10	防災 教育	元年度 第3回	防災リーダーの方の育成が大事だと思います。実際、訓練を年に何回かしますが、参加者は70、80歳代の方ばかりです。高校生、中学生に授業の中で教育をしてもらい、いざ防災になったときは大人の手伝いをしてくださいとか、そういうことから入らないと、町会の若い人で仕事をされている方は、防災訓練に集まってもらえません。防災リーダーをしてくれる人がいません。だから他の方法を考えないといけないと思います。ですから、学生さんとかが少しでもそういう教育を学校内とかでする機会を設けてもらったら、だいぶ違うのではないかなと思います。	防災リーダーについては、地域人材の確保が難しく、推薦団体の範囲を拡大するなどの工夫をしております。 中学生への防災教育は、非常に重要な課題だと認識しておりまして、来年度から新たな取り組みとして「防災マスター」の育成に向けた、統一的な教育プログラムの実施に向けて、最終調整を行っているところです。 小学生につきましては、今年度、NHKの「防災サバイバル」という体験型の教育プログラムを全小学校で実施し、大変好評でしたので、自前での継続実施を検討しております。	②	防災 安全
11	学校 選択制	元年度 第2回	以前、高殿で、包丁持って走り回ってる人がおり、その日の晩に逮捕されたらしいが、そのとき高殿小学校は、必ず学校へ子どもを引き取りに来てくださいという対応をしたら、100%の保護者の方が来られたらしい。学校選択制でよその小学校へ行ってる子なんかは、全然、地域では掴みようがないし、学校からも連絡はいかないでしょう。しかし、その地域で起きてる問題ですから、こういうことを考えると、学校選択制はやっぱり問題だと感じた。 兄弟が別の小学校へ行かざるを得ないというような事態になっているということからすると、この学校選択制、実施されて10年近くなと思うが、この辺りで総括して、改善方法はないかどうかとか検討する必要があると思う。	学校選択制については、旭区では現在の校区を踏まえた「隣接区域選択制」を採用しており、毎年、選択制を希望される方が一定数いらっしゃいます。制度導入より、令和2年度入学時で7年となりますので、今後の必要な改善や制度のあり方の検討の必要性があると考えております。	①	企画 調整
12		元年度 第2回	校区の話は、PTAのほうでも話が出ています。地域からの情報が伝わらない。PTAのほうも情報が掴みづらい。中学校はまだ大丈夫だが、小学生に対してのケアというところは、やはりPTAのほうからいろいろとしないといけないところもあるので、校区というところをある程度意識した形にしてもらうほうが、PTAとしても動きやすいし、学校と連携しやすいところもあると思うので、そここのところを考えていただきたい。			
13		元年度 第2回	小学校の学校選択制は、考える時期に来ていると思う。子ども会でもそうですが、子どもは他の小学校へ行って、例えばその地域で行事があっても参加できないとか、そういう問題が出てくると思う。今は、まだ数が少ないので受け入れているが、これがちょっと予算とか絡んできたら、なんであの子、地域のお金出してないのに補助せなあかんのか、という意見もあると思う。			
14	部活動 指導	元年度 第2回	クラブ活動について、中学校の先生たちの負担が高いということで、サポート制度を活用するという形で、公共のところで募集をかけているが、なかなか活用されていない。理由を聞くと、登録される方が少ない。登録されている方も、現役を退かれた方とかで、中学生と同レベルに動くというのも難しいと聞いている。やはり現役の方は、仕事もされてますし、平日の昼間、仕事を割いてでも活動をしてもらうとなると、ある程度の費用を考えないといけないんじゃないかなと。もう少し予算を付けて補助をできるような形にすれば、もう少し登録数も増えるんじゃないかなと。	「部活動指導員」の時給は、大阪市においては、国の補助金の約1.56倍で実施しております。今年度までは有償ボランティアとして対応していたところを、令和2年度は会計年度任用職員として、公務員の身分で任用することになります。引き続き、増員に向けて取り組みます（教育委員会事務局指導部教育活動支援担当）。	①	企画 調整
15	教員の 指導力	元年度 第3回	教育に関することの提案として、大阪は小中高生の学力が全国でも低いので、できる範囲でやってみたらと思うのですが、北欧の国々は学力が高く、教育は日本と真逆です。チャイム・テスト・カリキュラムがない。現実的には国の方針があるので無理だと思いますが、段階的に少しずつ、休み時間を使って実験してみるとか、区の予算で北欧の教育の方々を呼んで講演するとかすれば、教員の方々の意識の向上とかにつながたら、学力向上につながるのではと思いました。	教員の意識向上や授業力の向上については、教育委員会事務局において様々な事業が展開されており、先進的な取組の勉強会なども行われているところです。 各区においても、こどもの学力向上に資する事業を様々な切り口から実施しており、旭区でも、全ての小・中学校で取り組んでおります。	①	企画 調整
16	学校 適正 配置	元年度 第3回	12クラスない小学校は統廃合の対象となるというのは決まったのですか。 小学校は特に地域との関係もあるので、子どもへの配慮がおろそかになることを懸念しています。	現在、条例化に向けて議会に提案されています。12クラスから24クラスが適正規模とされ、今回はそれに満たない学校が対象となります。 対象の学校は、鶴見区以外の23区で85校、旭区内では、生江小学校（第2段階）、城北小学校（第6段階）と高殿南小学校（第6段階）の3校が対象となります。 条例化により、区担当教育次長の業務として統廃合に係る一連の手続きが実施されることとなりますが、こども達の教育環境の向上を第一義として取り組むものであり、ご理解をお願いします。	①	企画 調整